

## 【意見照会の概要】 令和 7 年度産地交付金の追加配分の活用方針（案）

- 令和7年度の産地交付金について、国から約4.5億円の追加配分があったので、その活用について、意見を伺う。なお、配分の内容は以下のとおり。
- ① 地域の取組に応じた配分（そば、輸出用米の複数年契約等）
  - ② 留保解除による配分                      ・ ・ ・ 水活の予算残見込みに応じ配分（当初配分の1割以内）
  - ③ 執行残が多額であることによる配分  
・ ・ ・ 国によると、令和8年産の作付けにつながる支援を想定しているが、活用方法は、都道府県等の裁量で決定
- 追加配分の活用案は、以下のとおり。
- ・ 上記①は、実施要綱に基づくもので、そば等の作付けをした農業者に交付される。
  - ・ 上記②は、「水田収益力強化ビジョン」（以下「ビジョン」という。）で定めたルールに基づき、**県設定支援の単価の増額**に活用する。  
→ **加工用米、米粉用米、輸出用米、WCS用稲、飼料作物の単価アップ**
  - ・ 上記③については、令和8年産の作付けにつなげるため、**「米粉用米の支援」を新設し、令和8年産米粉用米の作付けの維持・拡大を図る。**

令和7年度の追加配分額： 約 4.5 億円	
①地域の取組に応じた配分 等	1.44 億円
②留保解除	1.77 億円
③執行残分	1.27 億円

水活の予算残に伴う配分  
約3億円